





| | | | |
|---|---|---|---|
| 施設長 | 園長 | 所長 | 記録者 |
|  |  |  |  |

社会福祉法人駿河会 地域密着型サービス運営推進会議【藁科】

日時 令和元年 6月14日 13:30～14:00

会場 ラポーレ駿河相談室

出席者

| | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|
| 施設長 | 玉田直文 | 地域代表 | 森谷正義 | 地域包括 | 河村美保 |
| 園長 | 杉山結子 | 地域代表 | 三浦勝己 | 嘉響 | 山本拓 |
| 所長 | 村田雄二 | 地域代表 | 森朝世 | こだま | 小林由季 |

事務局 本日はお時間をいただきましてありがとうございます。

では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

本日はデイサービスと地域包括の職員が参加しているので、それぞれの報告を聞いてご意見を頂ければと思います。よろしくお願いします。

事務局

今回の議題としては、平成30年度における事業の実績と、地域における活動状況について報告させていただきます。

では、こだま、嘉響の順で、各担当者から報告します。

こだま（小林）

●H30年度実績報告と近状について。

- ・利用者数について、H29年度も増加傾向にあったが、H30年度も引き続き新規利用者が増加した。
- ・認知症対応型通所介護から地域密着型通所介護にサービス種別を変更してから今月でまる2年となった。利用条件を緩和したことで誰でも利用できる状況となった事が地域の方やケアマネジャーにも浸透した結果ではないか。
- ・H30.6より生活機能向上連携加算を算定開始。静岡リハビリテーション病院のセラピストがひと月に1週間デイサービスに来所し、利用者の状態観察・訓練指導を行ってくれている。
- ・今年度の取組として、他事業所の見学や研修会に参加し、日々の活動を充実させることで利用者のADL向上につなげることを目標とした。

●地域での取組。

- ・H30年度はデイサービスでの活動を広報誌にまとめ、地域の商店や施設へ配布を行った。また、毎年11月に行われている清沢、大川農業祭に参加し、地域の方たちに対してもデイサービスの活動を広報した。
- ・今年度は利用者と一緒にデイサービス周辺の地域清掃を行う事を目標とし、地域でできる事を模索していく。

嘉響（山本）

●H30 年度実績報告と近状について。

- ・デイをご利用されている利用者の介護度は事業対象者～要介護4の方。
- ・総合事業で利用される方が H29 年度より減少傾向にあり、H30 の利用者数は要介護の方の利用日数が多くなった。
- ・H30 年度は終結者が多く、入院により長期療養される方が多かった。
- ・嘉響をご利用される方の状態像が変わってきている事を受け、取り組む活動内容についても再考する時期が来ていると感じる。今まで行ってきた嘉響の取組を続けて行くためにどのように活動を組み立てるかが課題と感じている。「利用者のやりたい事をくみ取る、引き出す」ことに力を入れ、嘉響での活動が在宅生活に活かされるようにしたい。
- ・今年度の目標を「ニーズを聴き、応えられる嘉響を目指す」とし、S 型デイサービスの見学や日常生活に活かせる活動の提案・実施に取り組んでいく。

●地域での取組。

- ・H28 年度から手縫い雑巾の寄贈に取り組んでおり、H30 年度は清沢小学校、中藁科こども園、清沢こども園に合計 250 枚寄贈した。
- ・H30.10.17、地域のお茶農家の方を講師に迎え、子供たちに煎茶の淹れ方を学ぶ講座を実施した。今年度も継続して実施する予定。
- ・こだまと同様に清沢農業祭に参加し、デイサービスの活動の広報を行った。

包括（河村）

○最近の地域での実情として、高齢化が進んでいく中で、介護度も比例して重くなっている傾向が見られています。今までは元気だった方も転倒して骨折されるケースなど、地域全体で支援が必要となってきたように思います。

事務局

以上、こだま、嘉響における平成30年度実績の報告と地域の実情についてでした。

各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。

森谷さん、三浦さん、森さん、「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか

森谷委員

○社会福祉法人で行うデイサービス以外にも最近ではそれぞれの地域で住民主体のデイサービスを行っていて地域の住民が集まる機会が増えている。羽鳥では“おしゃべり会”を年に2回行っている。はじめは参加者が少なかったが最近では藁科学習センターに150人ほどが集まるようになった。高齢になると一人でどこかに行こうという気持ちが衰えてくる。「隣の人が行くなれば私も行こう」と思うような機会を作っていくことが必要だと思う。また、地域の子供たちが地元の歴史や文化に触れる機会が減ってきており、知らない子供たちが増えてきている。地域で一つになるという事なら、歴史を教える高齢者と歴史を学ぶ子供といった機会があっても良いと考えている。嘉響で目標として挙げていた“S 型デイ”の見学については是非行ってもらって、地域の様子を知ってもらいたい。

事務局

○社会福祉法人として、地域の方々へなにか支援ができる事がないかという事は日々模索している所です。嘉響やこだまで今年度の目標としている地域・他事業所の見学を含め、地域を知る機会を得て行こうと考えています。

- 三浦委員 ○地区社協の総会に出ると、各地域の課題として移送・買い物支援が話に出てくる。駿河会でも実施していると聞いているが、運転手のボランティアとの連携はスムーズにしているのか気になることです。
- 事務局 ○駿河会でも移送支援については現在トライアルを行っているところになります。色々行って行く中で、連携や車の管理などについても検討していきたいと思っています。
- 三浦委員 ○こだま、嘉響の報告にあった終結者とは、どういった形でデイサービスを終了していくのか。徐々に高齢者が増えてきている中で、状態が良くなって終了する方よりは悪くなって終了していく方が多くなってきていると思っている。
- 嘉響（山本） ○昨年度の実績で言えば、状態が良くなってデイサービスを“卒業”された方が1名いました。しかし、多くのケースでは三浦さんのおっしゃる通りお亡くなりになるなど、状態が悪くなって終了される方が多いです。
- 森委員 ○私は小布杉に住んでいますが、私の地域ではまさに買い物支援が課題となっています。地域には30～40戸あるが、隣の家まで400mくらい離れているので、様子がわからない事が多い。昔のように地域の集まりがあれば情報交換もできるが、最近はその機会もなくなってきているので、村内のつながりが薄くなってきている。そういったところを社会福祉法人などに助けてもらえると助かります。
- 事務局 貴重なご意見をありがとうございました。
- おわりの挨拶
杉山 本日は生の声を聞かせて頂きありがとうございます。
お話を伺うなかで、“隣の人が行くから私も行ってみよう”というような誰もが参加できる企画、雰囲気作りは確かに必要なことだと思いました。買い物支援などでもそうですが、社会福祉法人として地域の方々のお役に立てるように、これからも尽力していきたいと思ます。そのためにはこうした地域に開かれた会議や地域の方の声を聞く機会が大切だと思ますので、これからもご意見の程宜しくお願ひします。
- 事務局 これで会議を終了とさせていただきます。
次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。
本日はありがとうございました。

U

U